

## —支部通信欄—

## 1 事務局からのお願い

## (1) 退会・転出・転入された方へ

日本気象学会から退会される方、北海道支部から他支部へ転出、他支部から北海道支部に転入された方は、日本気象学会本部事務局へ連絡すると共に支部事務局へも連絡願います。(支部事務局への連絡は、支部機関誌「細氷」末頁の『所属(住所)変更届』をご利用下さい)

## (2) 学会への勧誘について

気象に関心をお持ちの方が身近におられましたら、気象学会への入会をお勧め願います。

入会申込書は支部事務局にあります。

会員の種別および年会費は下表のとおりです。また、A会員には気象学会機関誌「天気」のみ、B会員には「天気」と「気象集誌(英文論文)」が配布されます。また、北海道支部発行の機関誌「細氷(研究発表会の要旨や解説等)」が無料配布され、更に学会が発行している「気象研究ノート」なども会員価格で購入できます。

	一般A会員	一般B会員	学生A会員	学生B会員
年会費	6,900円	12,600円	4,200円	8,100円
支部機関誌「細氷」	無料配布	無料配布	無料配布	無料配布
気象学会機関誌「天気」	無料配布	無料配布	無料配布	無料配布
気象集誌(英文論文)	有料購入	無料配布	有料購入	無料配布
気象研究ノート	有料購入	有料購入	有料購入	有料購入

## 2 編集後記

- (1) 本号の編集にあたり、寄稿者等多くの方々にご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。
- (2) 北海道支部と支部会員のつながりがいっそう緊密になるような親しみやすい機関誌にしたいと思っておりますので、掲載内容についてご意見・要望、アイデア等をお寄せください。
- (3) この通信欄は、支部会員相互の情報交換にもお使いいただけます。ご希望の方は原稿を支部事務局までお寄せください。

(問合せ先)

日本気象学会北海道支部事務局

〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目

札幌管区気象台技術部気候・調査課内

Tel 011-611-6147

Fax 011-611-3206



# 明日の 自然を 見つめる。



エゾシマリス(げっ歯目 リス科)

北海道に産する。大きさは頭胴長15センチ程度。背中の黒とクリーム色の縞模様が特徴。夏の終わりから秋にかけて、木や草のみなを類々に詰めて巣穴に運び冬眠に入る。冬眠中は巣の中で身体を丸くして眠るが、時々、目を覚ましては蓄えた食料を食べる。

- 気象、雪氷、環境調査
- 天気予報解説、気象予測情報提供
- 海象調査解析、波浪予測
- 気象情報提供システムのコンサルティング
- 水文調査、水収支解析
- アイスプラント(氷温貯蔵庫)の設計、監理
- MICOS-LANによる気象情報提供
- 気象測器の販売、保守管理、精度試験および修理
- 道路気象、農業気象調査
- 各種(気流・吹雪・吹きだまり・霧等)数値シミュレーション

財団法人 日本気象協会 ISO9001 ISO14001

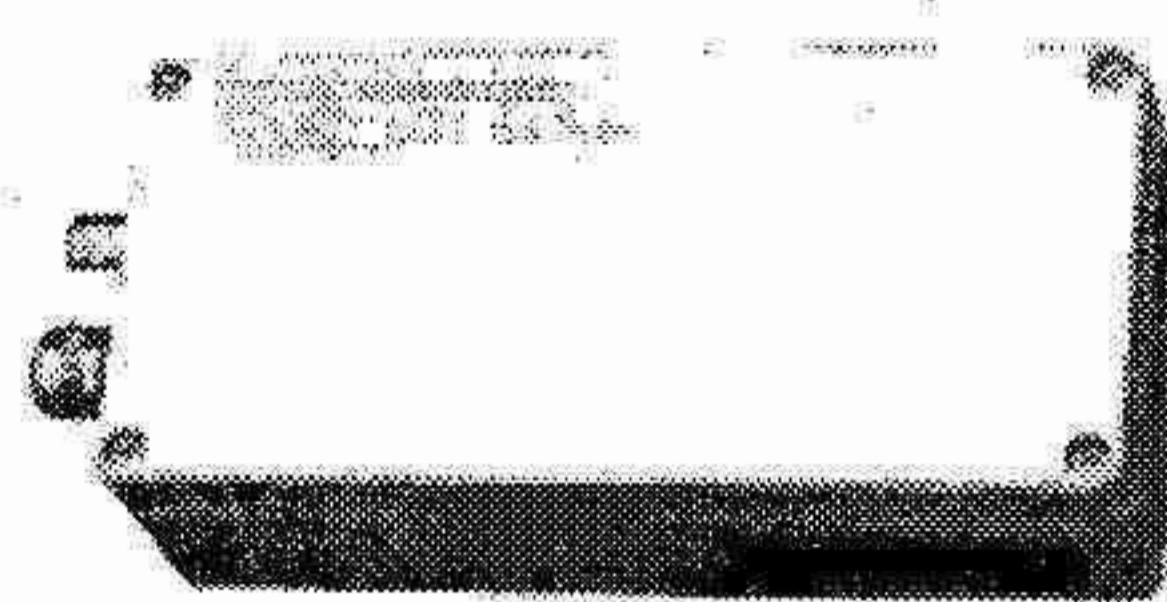
- 本社/東京都豊島区東池袋3丁目1番1号 TEL(03)5958-8111
- 首都圏支社/東京都豊島区東池袋3丁目1番1号 TEL(03)5958-8111
- 東海支社/名古屋市北区水草町1丁目21番5号 TEL(052)912-1111
- 北海道支社/札幌市中央区北4条西23丁目1-18 TEL(011)822-2230
- 関西支社/大阪市東成区東今里3丁目16番11号 TEL(06) 9978-7760
- 東北支局/仙台市太白区向山4丁目20番14号 TEL(022)216-4181
- 九州支社/福岡市中央区大濠1丁目6番33号 TEL(092)734-7441

# KADEC-U21series 新製品

## レーザー式積雪深計 KADEC21-YUKI

- 内蔵リチウム電池で7ヶ月連続測定が出来ます(1時間インターバル)
- レーザーセンサ部電源は記録計から供給されていますので、外部電源が不要です
- 1~1.0mの範囲で自由な高さに設置可能で、基準設定が出来ます。

記録部



センサ部



- ◎検出方法：半導体レーザー式
- ◎使用レーザー：クラス2
- ◎ドット径：6mm
- ◎測定範囲：1~1.0m
- ◎測定精度：±1cm
- ◎測定時間：30秒
- ◎使用温度範囲：-20~40℃

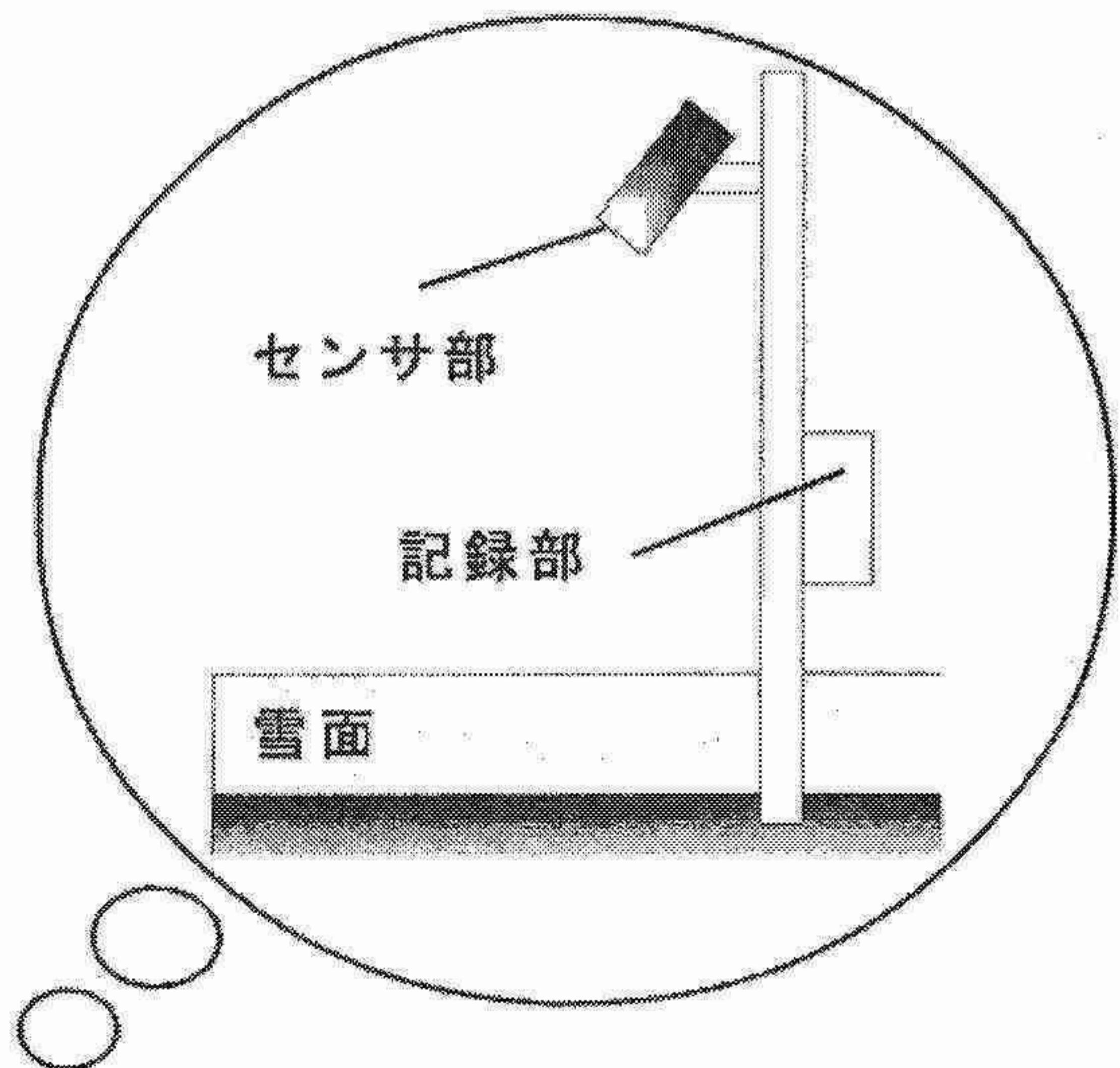
### 特徴

■レーザー式積雪深計は気温、湿度、風、ノイズに大変影響を受けずらく、センサ部と記録部との間はデジタルで伝送します。

■積雪面に非接触で測定し、傾斜角度をもって設置するので、感部に付着した雪が落下しても測定面に影響しません。

■測定誤差が±1cmの高精度センサーと、低消費電流で動作し耐環境性に優れたKADECとセットで構成されており、長期間過酷な環境下での積雪深測定に最適です。

### 設置イメージ



**KONA** コーナシステム株式会社 <http://www.kona.co.jp>

本社〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目2-11 TEL011-897-8000 FAX011-897-8001

東京支店〒108-0073 東京都港区三田2丁目14-570インテック三田ビル TEL03-5442-2030 FAX03-5442-2032

福岡営業所〒814-0001 福岡県早良区百道浜4丁目31-1071エヌエフ1F TEL092-832-6655 FAX092-832-6656

私たち、一同はより良い販売とサービスを通じ顧客満足度 No. 1 を目指す企業です。

私たち、一同は新しい機器とシステムで社会の発展に寄与し自ら成長する企業です。

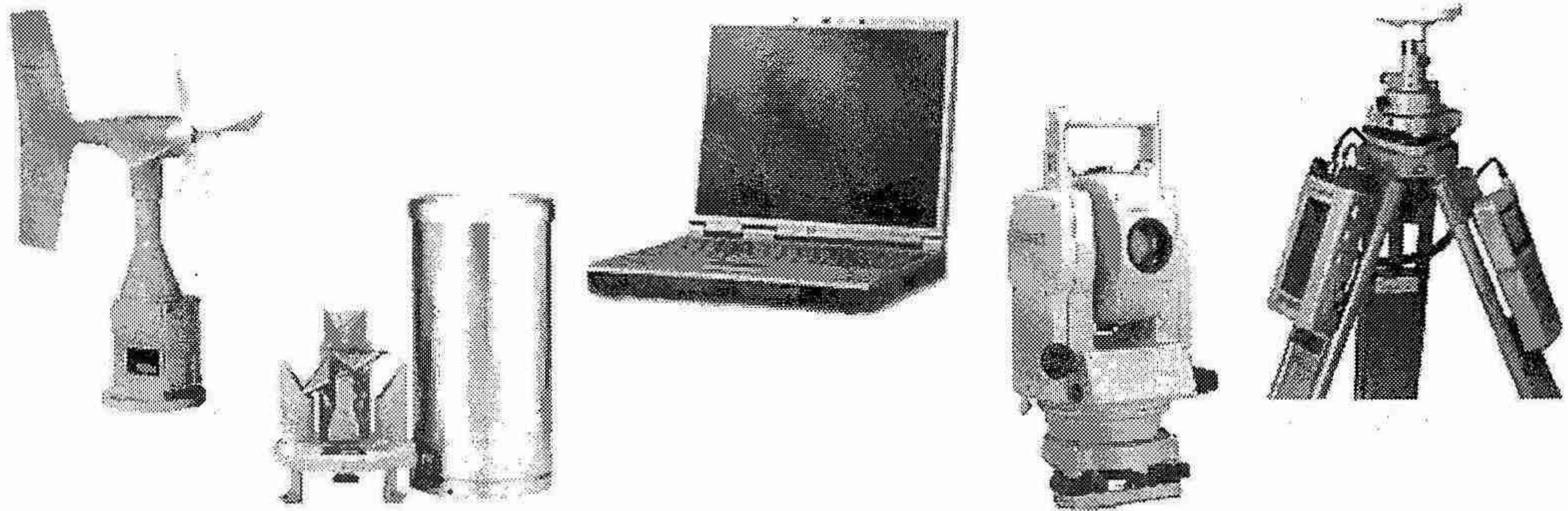
私たち、一同はコストパフォーマンスを常に意識し、共存共栄を目指す企業です。



# 株式会社 岩崎

主要扱い品目 気象、海象、測量、精密測定、コンピューター、自動図化、GIS、GPS

計る、図る、測る、量る の総合商社です。



### 営業拠点

本社	〒060-0034	札幌市中央区北4条東2丁目1番地	TEL 011-252-2000
旭川支店	〒079-8442	旭川市流通団地2条5丁目	TEL 0166-48-1125
帯広支店	〒080-2469	帯広市西19条南1丁目4-21	TEL 0155-34-0005
釧路出張所	〒085-0006	釧路市双葉町17番19号	TEL 0154-23-7488
函館出張所	〒040-0033	函館市千歳町21番13号	TEL 0138-23-8301
北見出張所	〒090-0064	北見市美芳町6丁目3番8号	TEL 0157-24-2831
苫小牧出張所	〒053-0803	苫小牧市矢代町1丁目2番地3号	TEL 0144-74-8171
小樽出張所	〒047-0004	小樽市新富町13番5号	TEL 0134-27-5571
網走営業所	〒093-0046	網走市新町3丁目3番11号	TEL 0152-43-3530
室蘭営業所	〒050-0082	室蘭市寿町3丁目23番8号	TEL 0143-43-6228
稚内営業所	〒097-0015	稚内市朝日5丁目1478-1	TEL 0162-32-2608
留萌営業所	〒077-0028	留萌市花園町5丁目2番地23号	TEL 0164-43-8338

岩崎ホームページアドレス <http://www.iwasakinet.co.jp>

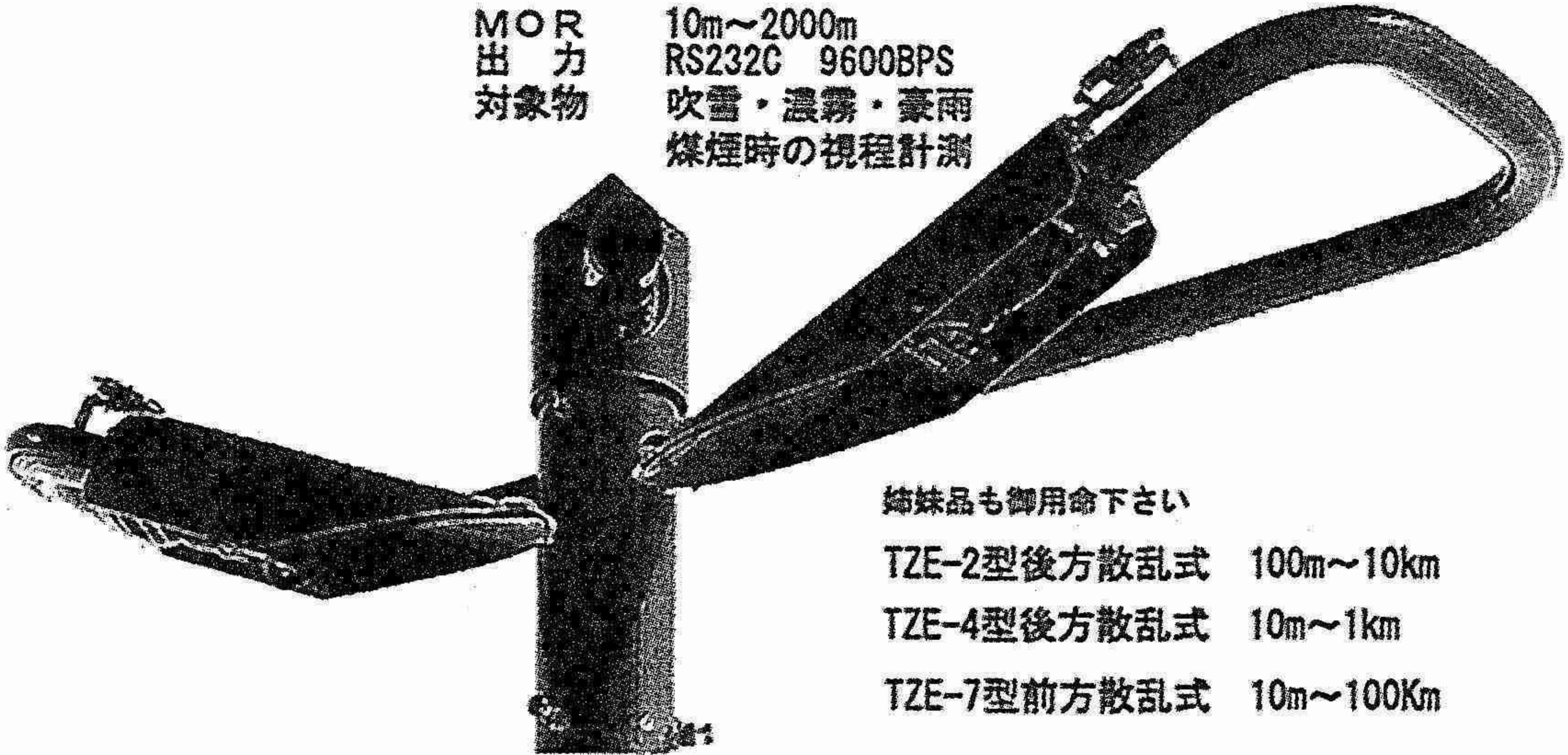
視程観測に30年以上の経験があります。吹雪時の視程観測に！

新製品

# 前方散乱式視程計 DVM2000

MOR  
出力  
対象物

10m~2000m  
RS232C 9600BPS  
吹雪・濃霧・豪雨  
煤煙時の視程計測



姉妹品も御用命下さい

TZE-2型後方散乱式 100m~10km

TZE-4型後方散乱式 10m~1km

TZE-7型前方散乱式 10m~100Km

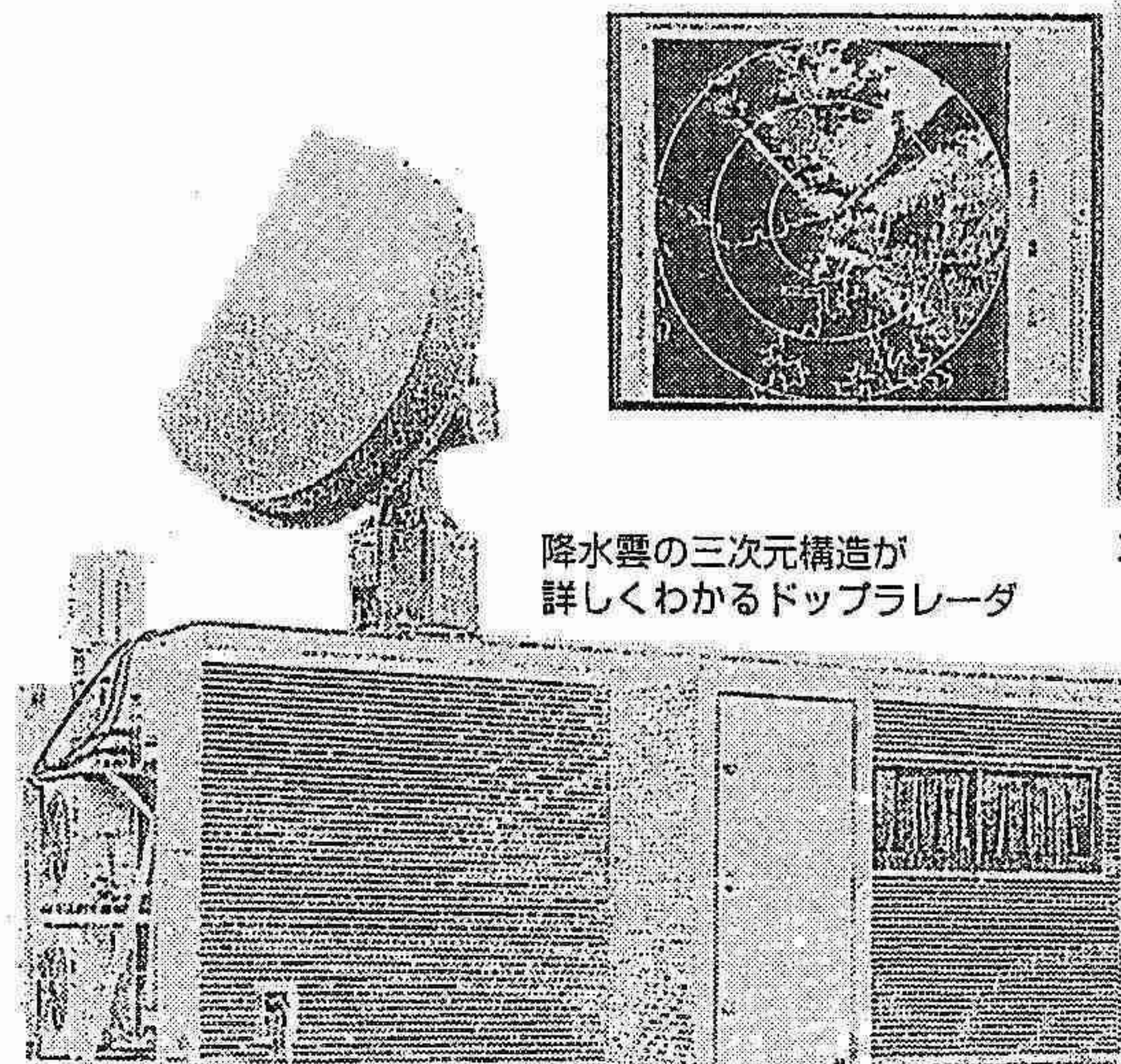
## 明星電気株式会社

お問合せは最寄の営業部、支店まで

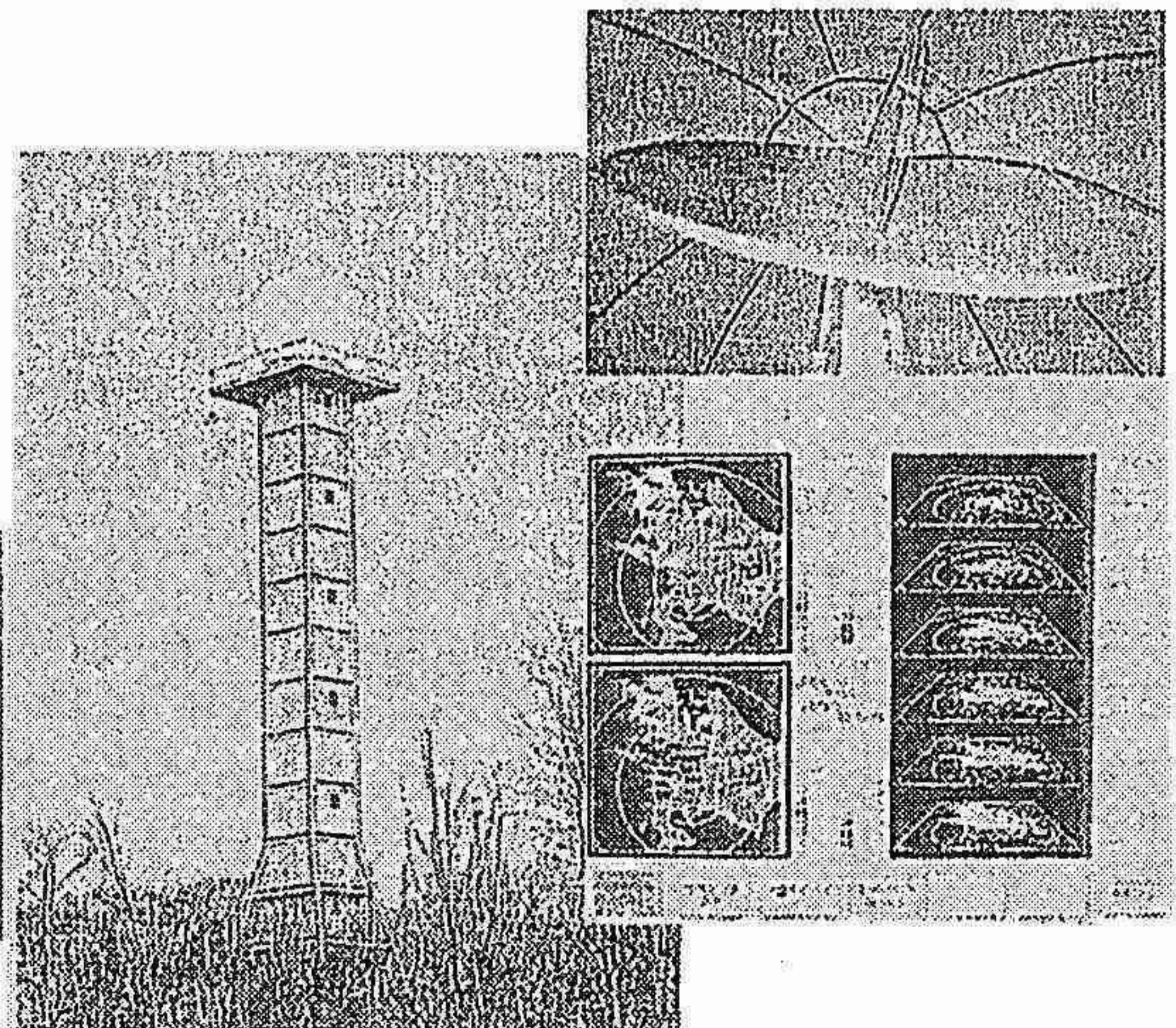
本社 〒112-8511 東京都文京区小石川2-5-7  
URL: <http://www.meisei.co.jp/>  
環境計測営業部 Tel (03)3814-5123 Fax (03)3814-5004  
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目1番28 (カキヤビル7F)  
Tel (011)231-7117 (代) Fax (011)231-7140

## 気象観測の進化をささえる、JRCのレーダ技術。

1954年(昭和29年)、国内で初めて気象レーダを完成させたJRCは、以来企業活動や暮らしと密接な関わりのある気象予報の発達に取り組んでいます。



降水雲の三次元構造が詳しくわかるドップラレーダ



全国各地の気象台で活躍する気象レーダ

## JRC 日本無線株式会社

JRCホームページ <http://www.jrc.co.jp/>  
本社事務所 〒107 東京都港区赤坂2丁目17番22号 赤坂ツインタワー本館  
北海道支社 〒060 札幌市中央区北3条西7 北海道水産ビル ☎(011)261-8321(代表)

## 静止気象衛星 MTSAT LRIT 受信システム

1. 「ひまわり」(GMS)に代わる MTSAT 衛星から配信される低解像度の LRIT (Low Rate Information Transmission: 低速情報伝送) を直接受信し各種の解析処理を実現します。
2. 弊社製ひまわり WEFAX 受信装置 (GMSP-2) からのアップグレードを予定しています。

## X-Band 衛星データ受信システム

EOS Terra and Aqua 衛星 MODIS 受信システム

1. 高信頼性の 2.4m, 3.0m, 3.6m アンテナを取りそろえプログラム追尾と自動トラッキング追尾の併用により安定した自動受信
2. 受信データから Level 0, Level 1, NASA GSFC 処理に対応
3. NETOP, NPP, NPOESS 衛星受信装置への拡張を予定

## Micro Rain Radar MRR-2 (ドイツ METEK 社製)

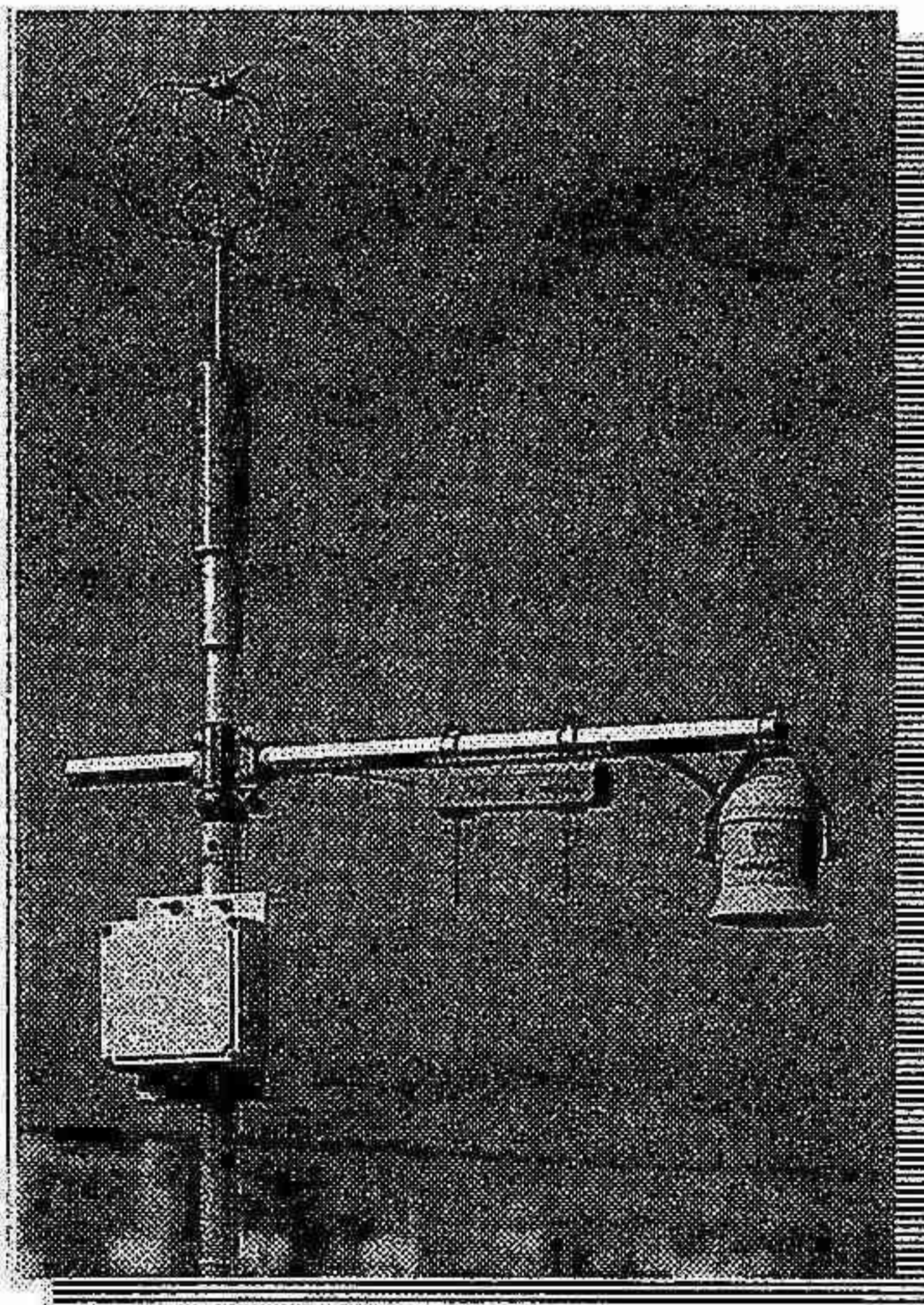
1. 観測高度 2500m, 測定間隔: 35 ~ 200m, 測定時の平均化処理時間: 10 ~ 3600sec
2. 周波数帯: 24GHz, 送信出力: 100mW, アンテナサイズ: Offset-parabolic 60cm の超小型
3. 長期間の無人運転が可能、データの取得はノート PC (Windows2000)
4. 雨量測定, 雨量の鉛直プロファイル, LWC, 雨滴サイズの分布等の観測が可能

### リモートセンシング関連商品

- |                              |                                |
|------------------------------|--------------------------------|
| ・ 環境観測技術衛星「ADEOS-II DTL」受信装置 | ANPS-2 シリーズ (陸上用・船舶用)          |
| ・ 気象衛星「NOAA APT」受信システム       | NPS-1 シリーズ (陸上用・船舶用)           |
| ・ 気象衛星「NOAA HRPT」受信システム      | (陸上用・船舶用)                      |
| ・ 衛星画像解析ソフトウェア               | IPSR (NASDA, JAFIC データ等の解析が可能) |

E-mail depart.n01@nhe.co.jp

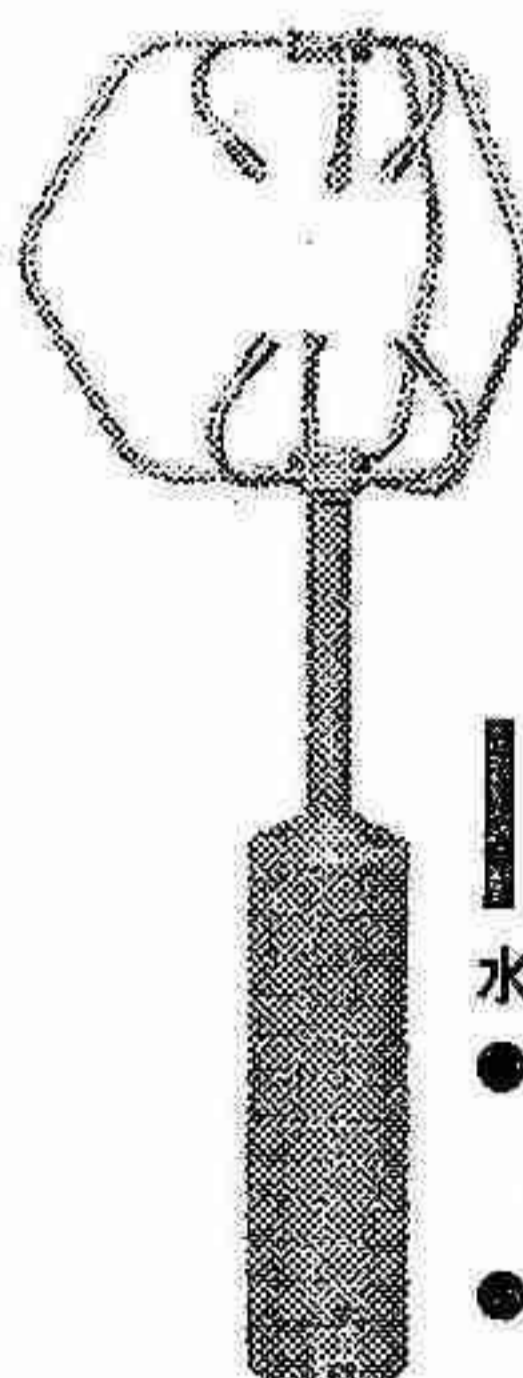
**NHE 日本船用エレクトロニクス株式会社** 〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川2-40-7  
TEL (045)453-6914 FAX (045)453-6919



### 気象観測システム

気象情報、大気拡散観測、建築・土木の安全管理、環境管理、道路情報、降雪・積雪情報など遠くはなれた所のデータ管理に…

- リアルタイムな気象情報を提供
- データ収集のコスト削減

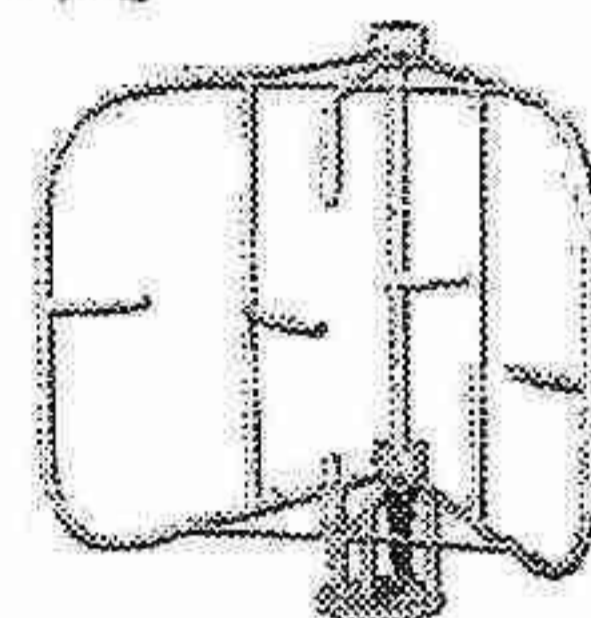
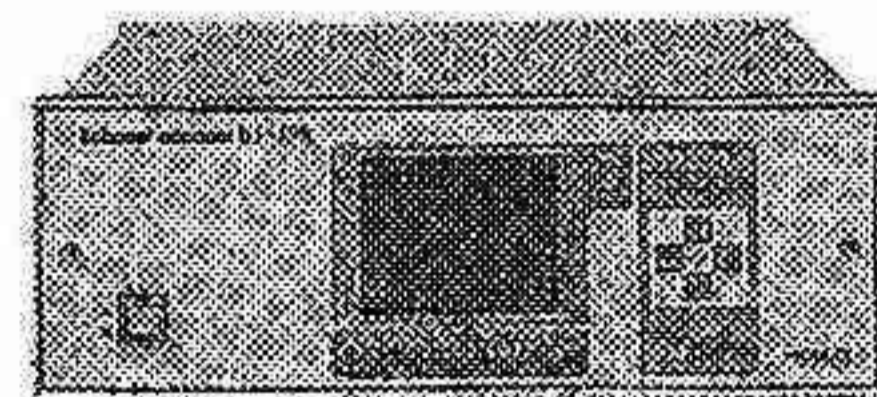


### 超音波風速温度計

#### DA-600シリーズ

乱流・熱収支・水収支観測や風洞・ビル・橋梁風などの観測に…

- 3次元風速成分を測定
- ハイレソンスでの風と温度変動を測定
- 「ゼロ」m/secからの風速を測定
- 3種類、8タイプのプローブをラインアップ



### 三次元超音波風向風速計 (温度計)

#### SATシリーズ

水平風向風速に加え、鉛直方向の風速も測定可能

- 機械的な構造がないため、過渡的な変化にも追従可能。
- 0m/s付近の微風速から60m/sの強風までハイレソンスで測定可能
- お手持ちのパソコンで、風速計のデータ収録可能

## 株式会社 カイジョーソニック

本社 〒205-8607 東京都羽村市栄町3-1-5  
TEL 042(555)6080(代表) FAX 042(579)5171  
URL <http://www.kaijasonic.co.jp>  
e-mail info@sonic.kaijo.co.jp

営業本部 〒205-8607 東京都羽村市栄町3-1-5  
TEL 042(555)0252(代表) FAX 042(555)0371

北海道支店 〒060-0004 札幌市中央区北四条西4-1 ニュー札幌ビル5階  
TEL 011(251)2280(代表) FAX 011(251)4694



# AVC総合商社ならではの 理想的なトータルシステムを創造します。

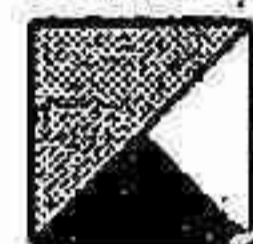
個々のメディアの機能を最も適合する分野を分担させて複合的に利用し、相乗的効果をねらい、能率よく、効果的な学習(情報伝達)を進めることは、一つの目標の達成のために生かされなければなりません。

私達はあらゆる未来を予測し、効率的なコミュニケーションの場をトータルなものとして施設、設備やソフトウェアにいたるまで考えております。

お問い合わせ  
ご用命は **札幌(011)643-1010**

ホームページ <http://www.kcav.co.jp>

北海道知事許可(般)石第14852号・電気通信工事業



**KC-CAV**

ISO 9001:2000



株式会社 **光映堂シーエービー**

□本 社/札幌市中央区北4条西15丁目 ☎(011)643-1010  
FAX(011)641-2247  
□イベントレンタル部/札幌市中央区北4条西15丁目 ☎(011)643-2155  
□旭川営業所/旭川市豊岡13条7丁目47 ☎(0166)31-0615  
FAX(0166)31-0618  
□釧路営業所/釧路市昭和中央3丁目1番8号 ☎(0154)55-2111  
FAX(0154)52-2111

ホームページ <http://www.kcav.co.jp>

所属（住所）変更届

旧所属・住所	
新所属・住所	
郵便物送り先	
ふりがな 氏 名	TEL (       )       -

送付先：〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目  
札幌管区气象台技術部気候・調査課内  
日本気象学会北海道支部事務局  
Tel:011-611-6147  
Fax:011-611-3206



# 日本気象学会北海道支部 研究発表会申込み方法及び原稿作成要領

## 1 研究発表会申込みの方法及び期限

### (1) 申込み方法

申込み希望の方は、申込み期限までに発表題目・氏名（共同発表の場合、発表者の左肩に○印）・使用機器（プロジェクター・OHP使用の有無）を北海道支部事務局まで提出すること。

### (2) 申込み期限

第1回研究発表会（5月20日必着）、第2回研究発表会（10月20日必着）

## 2 研究発表会原稿作成要領及び提出先

### (1) 原稿用紙

A4版（縦長・横書）に上下左右のマージンを1cmとった用紙を使用する。

この原稿用紙に書かれたものをそのまま写真でB5版の大きさに縮小して印刷する。従って執筆者が書いた文字・図表はそのままの姿で印刷され、原稿用紙一枚が1頁となる。

この原稿用紙をB5版に縮小する割合は0.86なので、図表もこの比率で縮小されるので注意すること。

手書き用の原稿用紙を希望される方は支部事務局に連絡願います。

### (2) 原稿の記入

原稿の体裁を統一する必要から、最初の行の中央に標題（本文より大きい文字を書き、長い場合2行にわたっても差し支えない）、1行あけて右側に氏名と（所属）を書く。連名者が多い場合は、次の行にわたっても良い。

本文は章だてとし、本文が7行目あたりから始まるように記入する。

原稿は1編をA4版用紙1～2枚に書き、なるべく余白を出さないように留意すること。

文字・図表などは黒色で出力すること。カラーの図表は、全て白黒に印刷され、明瞭に印刷されない恐れがあるので、できるだけ使用しないこと。

提出された原稿は編集印刷の際、用語、文字などの訂正が難しいので、原稿作成にあたっては十分に注意すること。読み難い原稿は書き直しをお願いすることもあります。

### (3) 図表

図表はその大きさや、図表中の文字・数字の大きさ等について縮小の比率を十分に考慮し、見苦しくならないように作成する。

- ・原稿用紙に直接図表を記入するか、貼り付ける。
- ・グラフ用紙を使用する場合は、罫線が濃いものを使用しない。
- ・図表には標題と説明文も付加する。

### (4) 提出先

原稿は研究発表会当日会場へ持参し支部事務局に提出するか、または、7月末日までに事務局に提出する。

原稿に使用した図や写真の返却を必要とする場合は、提出の際にその旨お知らせ下さい。

— 細 氷 No.50 —

平成16年 9 月 30 日 印刷

平成16年 9 月 30 日 発行

編 集 日本気象学会北海道支部  
発 行

編集委員 清 水 為 一

〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目

札幌管区气象台気候・調査課内

Tel (011)611-6147

印刷所 クリ ー ン ホ ソ ク ラ

〒064-0810 札幌市中央区南10条西9丁目

Tel (011)521-2355